



報道機関 各位

令和6年8月1日

「7.13 水害から20年シンポジウム」を開催します

平成16年7月新潟・福島豪雨（以下、「7.13 水害」という）から令和6年で20年の節目を迎えました。改めてこの豪雨水害を振り返り、また、得られた教訓を継承することで地域の防災意識の継続・さらなる向上を図るため、見附市でシンポジウムを開催します。

当日は、防災フェスを同時開催し、親子で楽しみながら防災に触れられるコーナーもご用意します。

●日にち 8月25日（日）

●場所 中央公民館（見附市本町2丁目5-9）

【7.13 水害から20年シンポジウム】

●時間 13:00～16:20

●内容 アトラクション、開会挨拶、講演、学習・活動発表、パネルディスカッション

【防災フェス】

●時間 9:00～16:20

●内容 キッチンカー、アクアプレイ、降雨体験車、はたらく車の展示、防災グッズ展示 など

【本件の問合せ先】

企画調整課危機管理室 担当：水嶋 ☎（0258）62-1700（内線312）

送信枚数 5 枚（この表紙含む）

発行者：見附市役所 企画調整課 秘書広報室 川上（内線316）

☎（0258）62-1700 FAX（0258）63-1006



水害・防災について一緒に考えてみませんか ～「7.13水害から20年シンポジウム」参加募集中～

- 甚大な被害をもたらした「平成16年7月新潟・福島豪雨」から今年で20年を迎えるにあたり、改めてこの豪雨水害を振り返り、また、得られた教訓を継承することで地域の防災意識の継続・さらなる向上を図るため、見附市でシンポジウムを開催致します。
- 「防災フェス」を同時開催し、親子で楽しみながら防災に触れられるコーナーもご用意致します。

○7.13水害から20年シンポジウム（要申込）

1. 日 時： 令和6年8月25日（日） 13:00～16:20
2. 場 所： 見附市中央公民館（新潟県見附市本町2丁目5番9号）
3. 主 催： 7.13水害20年プロジェクト 実行委員会
4. プログラム： ①アトラクション、②開会挨拶、③講演、④学習・活動発表、⑤パネルディスカッション（詳細は別添資料を参照。）
5. 応 募： 別添資料の参加申込書をご覧ください、フォーム、メールまたはFAXにてお申し込みください。

○防災フェス（申込不要）

1. 日 時： 令和6年8月25日（日） 9:00～16:20
2. 場 所： 見附市中央公民館（屋内及び駐車場）
3. 内 容： キッチンカー、アクアプレイ、降雨体験車、はたらく車の展示、防災グッズ展示 など

※当日の取材に関する事項は後日、改めてお知らせ致します。

＜同時配布先＞

県政記者クラブ、新県政記者クラブ、新潟市政記者クラブ、新市政記者クラブ、長岡市記者会、長岡地域記者会、三条市記者室、見附市政記者会

＜お問い合わせ先＞



国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所

副所長（技術）松崎 竹史
流域治水課長 若杉 康夫
TEL (025) 266-7131（代表）
FAX (025) 266-7105（代表）



防災・減災
にいがたプロジェクト
2024



7.13 水害
20年プロジェクト
7.13 FLOOD DISASTER
20th PROJECT

【会場のご案内】



周辺拡大



7.13水害 20年プロジェクト

7.13 FLOOD DISASTER 20th PROJECT

みんなで
防災を学ぼう！

7.13水害から20年 シンポジウム

シンポジウム
防災フェス
参加無料

2024 **8.25** SUN 13:00~16:20 (12:00開場)

会場 見附市中央公民館「大ホール」(見附市本町2丁目5番9号)

甚大な被害をもたらした平成16年7月新潟・福島豪雨から20年の節目を迎え、
改めてこの豪雨水害を振り返ることで、地域の危機意識の向上・継続を図るとともに、
この災害で得た教訓をしっかりと次世代へ継承し続けていくことを
目的としたシンポジウムを開催します。



本シンポジウムは
土木学会CPD認定プログラムです。

講演

信濃川下流域の気象の特徴や、災害から命を守る行動について、7.13水害の取材経験を踏まえてお話しいただきます。

●講演①「最近見られる四季折々の気象状況と台風や 集中豪雨時にやるべきこと」

講師：樋ノ浦 重嗣 (BSN新潟放送 技術部長／気象予報士)

●講演②「災害時報道とその裏側 ～あの時何が起きているのか～」

講師：酒田 暁子 (BSN新潟放送 報道部長／防災士)

パネルディスカッション

見附市長、地域団体代表らによる7.13水害の教訓と
これからの防災の取り組みについて意見を交わします。



アトラクション

- 越後見附太鼓の演奏
- 中学生の防災学習の紹介

同時開催

防災フェス 9:00~16:20

ほかにも楽しめる
防災イベントがたくさん！
ご来場お待ちしております

家族みんなで防災！
ご来場の方々に
記念シールをプレゼント

参加方法や詳細は裏面をご確認ください。



キッチンカー



アクアプレイ



防災グッズ展示



降雨体験車

主催 7.13水害20年プロジェクト実行委員会

見附市、三条市、新潟市、加茂市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、新潟県土木部・三条地域振興局地域整備部・長岡地域振興局地域整備部、
新潟地域振興局地域整備部、新潟地域振興局新津地域整備部、信濃川下流河川事務所

問い合わせ 7.13水害20年プロジェクト実行委員会 事務局

(国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 流域治水課)

〒951-8153 新潟県新潟市中央区文京町14-13 TEL:025-266-7319 FAX:025-231-2043 <https://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/>



7.13水害20年
プロジェクト特設HP



7.13 水害
20年プロジェクト
20th PROJECT



防災・減災
にいたプロジェクト
2024

シンポジウムプログラム

●アトラクション(13:00)

越後見附太鼓

●開会挨拶(13:20)

●講演(13:30)

講演①「最近見られる四季折々の気象状況と台風や集中豪雨時にやるべきこと」

講師：樋ノ浦 重嗣 (BSN新潟放送 技術部長/気象予報士)

講演②「災害時報道とその裏側
～あの時何が起きているのか～」

講師：酒田 暁子 (BSN新潟放送 報道部長/防災士)

●学習・活動発表(14:30)

「今町中学校の防災学習の取り組みについて」

●パネルディスカッション(15:00)

テーマ：「地域防災と住民避難」

コーディネーター：大塚 悟 (長岡技術科学大学教授)

パネリスト：稲田 亮 (見附市長)

樋ノ浦 重嗣 (BSN新潟放送 技術部長/気象予報士)

酒田 暁子 (BSN新潟放送 報道部長/防災士)

ほか、7.13水害を経験し、
今も防災活動に取り組む方々を予定しています。



パティオにいがた
モニュメント

7.13水害を忘れず、教訓を
今後に生かすために
建てられた祈念モニュ
メント。台座には地域の皆
さんの「希望の言葉」が
刻まれています。

パティオにいがた
防災アーカイブ

道の駅パティオにいがた内
にある「防災アーカイブ」。
7.13水害の記録、そして見
附市で行われている防災対
策の重要性とその効果を紹
介しています。



本シンポジウムは土木学会CPD認定プログラムです。

シンポジウム参加申込書 防災フェスは申込不要

代 表 者	フリガナ 氏名	CPD受講証明書の 希望	住所 〒
		希望の場合は下記の□に ✓を付けて下さい ☐ 希望します	
電話番号			メールアドレス

同 伴 者	フリガナ 氏名	CPD受講証明書の 希望	フリガナ 氏名	CPD受講証明書の 希望
		希望の場合は下記の□に ✓を付けて下さい ☐ 希望します		希望の場合は下記の□に ✓を付けて下さい ☐ 希望します
		希望の場合は下記の□に ✓を付けて下さい ☐ 希望します		希望の場合は下記の□に ✓を付けて下さい ☐ 希望します
		希望の場合は下記の□に ✓を付けて下さい ☐ 希望します		希望の場合は下記の□に ✓を付けて下さい ☐ 希望します

お申込みは、先着順とさせていただきます。定員に達した際はホームページでご案内するとともに、その後、お申込みいただいた方にはご連絡差し上げます。
記入いただいた情報はシンポジウムの受付業務を目的として使用します。

フォームでの応募

QRコードを読み取り
必要事項を記入し
送信してください



メールでの応募

上記の参加申込事項を、下記アドレスまで、
お送りください。QRコードを読み取ると、
メール作成画面が表示されます。
713suigai20th@gmail.com



FAXでの応募

上記の参加申込事項を記入のうえ、
下記番号まで、お送りください。

FAX 025-231-2043